

臨海機能整備エリア

基本的考え方 南・東アジアとの交流・交易拠点として、高付加価値ものづくり産業の発展を支えるまちづくりをめざします。

《夢洲地区》

○ものづくりの高付加価値化を支援するアジア交易の産業・物流拠点の形成(先行開発地区)



《咲洲コスモスクエア地区》

○ものづくり企業のアジア交易・交流の拡大に資するビジネス交流拠点の形成
○まちの魅力の向上に資するにぎわい創出と安全・安心の環境整備

大型車の渋滞緩和

- ・国際フェリーターミナル付近の渋滞対策(待機場所の確保等)
- ・既存コンテナ埠頭の再編・集約による物流総量の抑制(中長期)

交通アクセスの向上

- ・咲洲トンネルの利用者負担の軽減
- ・利用者にとって分かりやすい道路案内板の改良や駐車場案内板の増設等

先行開発地区における企業立地の促進
・効果的な企業誘致策の検討

アジアとの交易の拡大に資する国際フェリーのあり方の検討(中長期)

歩行者環境の改善

- ・歩車分離に資するペDESTリアンデッキの整備・誘導
- ・通学路確保のための平面歩道の整備

企業立地の促進

- ・高付加価値生産機能と連携した「製品開発型」研究開発施設などの立地誘導
- ・立地促進のための助成制度の充実

「咲洲」

ビジネス創造・情報発信の拠点形成

- ・アジアビジネス交流機能の強化
- ・企業間連携によるホール、会議室等の一体運用や誘致活動の展開
- ・インテックス大阪の商談機能の充実と規模・配置の検討

にぎわい創出

- ・コスモスクエア開発協議会でのルールの見直しによる良質な景観形成の検討
- ・R岸壁のフェリーターミナル化の推進
- ・R岸壁背後地など地区西側の土地利用のあり方の再検討(中長期)